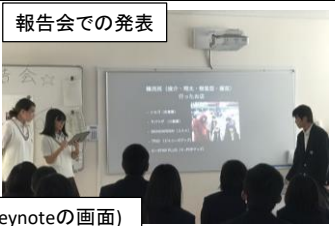


教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校版)

	実践名(実践年度)	iPadを活用した修学旅行事前学習の取り組み(平成30年度)
参加する授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	☐ 国語 ☐ 社会 ☐ 算数/数学 ☐ 理科 ☐ 生活 ☐ 音楽 ☐ 図画工作/美術 ☐ 家庭/技術・家庭 ☐ 体育/保健体育 ☐ 道徳 ☐ 外国語/外国語活動 ☐ 総合的な学習の時間 ☐ 特別活動 ☐ 自立活動 ☐ 各教科等を合わせた指導 ☒ その他の教科 ☐ その他()
	単元・題材名	修学旅行「自主研修」の計画を立てよう
	授業の目標	グループで話し合っ、自主研修の計画ができる。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	☒ 「知識・理解」 ☒ 「技能」 ☒ 「思考・判断・表現」 ☒ 「関心・意欲・態度」 ☐ その他()
	自立活動の要素	☐ 健康の保持 ☐ 心理的な安定 ☒ 人間関係の形成 ☒ 環境の把握 ☐ 身体の動き ☒ コミュニケーション
学習(集団)の実態	学部・学年・人数	☐ 通常の学級 ☐ 通級による指導 ☐ 特別支援学級 ☒ 特別支援学校 ☐ 就学前 ☐ 小学生 ☐ 中学生 ☒ 高校生以降 ☐ 特定されない 高等支援学校 2学年 10人
	対象の障害	☐ 視覚障害 ☐ 聴覚障害 ☒ 知的障害 ☐ 肢体不自由 ☐ 病弱・身体虚弱 ☐ 言語障害 ☐ 自閉症 ☐ 情緒障害 ☐ LD(学習障害) ☒ ADHD(注意欠陥/多動性障害) ☐ その他
子どもの実態	子どもの課題(特性・ニーズ)	☐ 聞く ☐ 読む ☐ 見る ☐ 話す ☐ 書く ☐ 運動と姿勢 ☐ 計算する ☐ 推論する ☐ 日常生活活動 ☒ 社会性・コミュニケーション ☐ 不注意 ☐ 多動性・衝動性 ☒ 覚える・理解する ☐ 時間的・空間的・人的交流の制約 ☐ その他 自己主張が強い生徒はほとんどやりたいことを発言できるが、自分の意見だけで決定しようとする傾向がある。消極的で人前ではなかなか自分の意見を主張できない生徒もいる。調べたことをそのまま書き写すだけで、要点をまとめることが苦手な生徒が多く、後からメモを見ても内容を理解できていないことがあり、説明や発表がなかなかできない。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称 (使用した支援機器・教材の名称を記載。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	・大型TV ・プロジェクター ・AppleTV ・iPad(使用アプリ「Safari」「乗換案内」「写真」「Keynote」) ・Microsoft Office「旅のしおり」のテンプレートを使用 
	活用のねらい(概要)	A コミュニケーション支援(☐ A1意思伝達支援 ☐ A2遠隔コミュニケーション支援) B 活動支援(☒ B1情報入手支援 ☒ B2機器操作支援 ☐ B3時間支援) C 学習支援(☐ C1教科学習支援 ☐ C2認知発達支援 ☒ C3社会生活支援) ・情報通信機器の利便性を上手に活用する。 ・グループで協力し、役割分担をして、効率よく調べたり、まとめることを学ぶ。 ・パソコンよりiPadの方が使い慣れているので、文字入力が早く、スクリーンショットですぐに調べたことを保存できる。AirDropでデータの共有もできる。
	活用方法	・iPadを活用し、必要な情報(行きたいお店・電車等)をインターネットで検索する。電車については、乗換案内のアプリも利用。 ・調べた情報は、スクリーンショットで画面を保存したり、メモしておく。 ・路線図の画像に、行き先が一目でわかるように、写真アプリのマークアップ機能を利用して、加工をする。 ・調べた内容をしおりにまとめる。「Microsoft Office「旅のしおり」のテンプレート」を使用。文字の入力と写真の貼り付けをグループで話し合って分担させる。それぞれのページが完成したらAirDropで共有して、一つにまとめる。 ・大型モニターを利用して、操作の仕方を説明。各グループの発表は、AppleTVを使用。
効果・評価	ICTを活用した授業での子どもの様子や変容および授業の評価	2～4人のグループ学習にすることで、普段なかなか主張できない生徒も自分の意見を言いやすくなった。お互いの意見を取り入れられるように相談したり、役割分担をするために、自然に話し合いが生まれ、生徒同士で意見を出しあって進めることができるようになった。調べたことをまとめることが苦手な生徒も、テンプレートを使用することで、何を調べてどうまとめればいいのかのイメージがしやすく、文字を入力し、保存した写真を貼り付けるだけなので、それぞれのページをしっかりと仕上げる事ができた。また、グループで好きなレイアウトを選ぶことができるので、楽しみながら作成ができた。操作が慣れた生徒は、文字の大きさや色を好きに変更したりと工夫する様子も見られた。早く進み終わった生徒が、自分からわからない友達に教えるという様子も見られるようになった。
資料	図・写真・表等 (生徒の写真は個人情報公開の確認を取っているものとする。)	    報告会での発表  しおり作成(Keynoteの画面) 